

たか おがわ ち か か せんちくぞうこうじ き こうしき おこな
高尾川地下河川築造工事起工式が行われました



「高尾川・鷺田川改修促進期成会とともに支援推進に努めてまいります」とあいさつする藤田市長

3月19日(日)、市内紫の高尾川地下河川築造工事仮設ヤードにおいて、起工式が行われ、福岡県小川洋知事をはじめ、国および福岡県の関係者のほか、市内からも筑紫野市議会、高尾川・鷺田川改修促進期成会の皆さんなど、計約120人が出席しました。

小川知事からは、「全国的にあまり例のない手法が採用されており、家屋移転を最小限にとどめることができます。その結果、既存の街並みへの影響が少なく、また短期間での工事が可能となるといわれています。早期完成に向けて全力で取り組んでいきます」とあいさつがありました。

工事開始には、地域の子どもたちが、くす玉開きや現場着工セレモニーに登場し、「安全確認」の後、「工事開始！」の合図で着工しました。(表紙参照)

高尾川地下河川築造工事とは

西鉄紫駅付近から西鉄二日駅市営駐輪場付近までの約1キロメートルの区間、高尾川の川底から約9〜10メートル下に内径5メートルの地下河川を新たに築造します。大雨などであふれた水はこの地下河川に流れ込み、下流で再び合流します。福岡県那珂県土整備事務所が事業を行います。